

ゲームで考える職員間のギャップ

藤巻 晃(徳島文理大学 地域連携センター 課長補佐)
野口 里美(香川大学 理事・副学長)

講師略歴

【藤巻晃】1999年より徳島文理大学に勤務。総務課、入試広報部、地域連携センター、地域連携センターと総務課の兼務を経て、2025年度より現職。これまでに SPOD において、コミュニケーションやチームビルディング、キャリア形成、学生支援等の講師を担当。2016年度 SPOD-SDC 認定。2019年度教職員能力開発拠点 SDC 認定。

【野口里美】1986年香川大学採用。総務、会計、学務を一通り経験した後、2018年度から6年間の企画総務部在職を経て現職。SPOD 設立当初からネットワークコア校のFD担当事務として携わる。これまでの SPOD フォーラムでは、「ワールド・カフェ」「ツールを使ってコミュニケーション～自己理解と他者理解～」等の講師を担当。2015年度 SPOD-SDC 認定。2016年度教職員能力開発拠点 SDC 認定。その他、Coco-iku(心育)SPT コミュニケーションカウンセラー・メンタルヘルスイストラクター認定。

プログラム概要

現代社会は、ダイバーシティの推進や働き方改革によって、個々の事情に合わせた多様な働き方が広がっています。高等教育機関においても、定年延長や再雇用制度、長時間労働の是正、男性の育児休業取得などが推進されています。その一方で、デジタル化の進展は、対面でのコミュニケーション機会の減少をもたらしています。

このような変化の中で、世代間、あるいはジェンダーなどによって、働き方や考え方にギャップが生じているのではないのでしょうか。

本研修では、様々な年代の職員が抱える世代間の認識のずれ、ジェンダーによるギャップ、価値観の相違などについて、ゲームを用いて、楽しく、そして本音で語り合う場を提供します。

互いの働き方や考え方を共有し、尊重し合うことを通して、参加者一人ひとりが多様な視点への理解を深めことにより、明日からの業務において、より円滑なコミュニケーションと協働につなげることを目指します。

準備物・事前課題

この研修では、大学職員として働いていて感じる職員間のギャップについて楽しく本音で語り合うことを目指しています。他者とのギャップについて話したいことなどを後日お知らせする指定フォームからご回答ください。

主な受講対象者

- ・世代やジェンダー等により価値観のギャップに悩む職員
- ・最近、本音でコミュニケーションがとれていない職員

到達目標

1. 世代間およびジェンダー等による価値観のギャップについて、具体的な事例をあげて説明できる。
2. 世代やジェンダー等による価値観のギャップについて、自身の経験や意見を共有し、他者の意

見に耳を傾けることができる。

3. 多様な年代やジェンダーに属する職員の働き方や考え方について、その背景にある理由や状況を理解し、尊重することができる。
4. 本研修で得られた多様な働き方や考え方への理解を行動に移すことを宣言できる。